



# 桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和4（2022）年12月23日 第9号

文責：校長 佐藤 正貴

## 後期前半を振り返り…。

新型コロナの第7波が下降傾向になりながら夏休みが明け、5年生の集団宿泊教室、前期の終業式、6年生の修学旅行、各学年の移動教室など校外に出かける大きな行事ができたことは何よりでした。そんな中で、もうそろそろ保護者の皆様方の参観等を含めた行事等の実施についても、以前のような形態に戻していく方向（感染対策は考えた上で）で考えておりましたが、第8波の襲来で再検討が必要になってしまいました。児童が練習を重ねておりました持久走大会につきましては、年が明けてから感染拡大の状況を見て実施時期を判断したいと思います。場合によっては「できない」という判断もあり得ますことをご了承ください。

感染症拡大防止のためには、やはり人が集まる場所ではマスクの着用と換気が重要だということです。今後も感染対策を取りながら教育活動を進めて参ります。保護者の皆様方にも、休業中のお子様の健康管理をお願いします。

## 人権集会にて。

人権月間に学習したことを踏まえて、各学級・学年で自分たちの暮らしを振り返っています。みんなが楽しく過ごすことができる学級、学年、学校にするためには・・・、ということが、どの学年でも大きなテーマとなっていました。3年生の集会で、隣の学級の発表を聞いていた男児が、発表に対してのお返りで、「差別やいじめをしないことは格好いい」というようなことを言いました。自分がされて嫌なことは人にはしない、相手のことに思いを巡らすこと、言いたいことがあるときは、攻撃的にならずに丁寧に伝えるなど、この男児が言った「格好良さ」を私なりに考えることができました。格好いい生き方をこれからも追求していきたいと思いました。



## 健康管理、大丈夫ですか？

12月上旬、夜中に激痛で目が覚めました。歯の痛みです。今回は、後悔の念に苛まれている話です。今から3年程前に、左下の奥歯が欠けるという現象が起きました。痛みはありませんでした。むしろ「やっぱり」と思いました。実は、この数年前からこの歯の中が黒ずんでいるように見えて、もしかしたら虫歯かもという疑念を持っていました。しかし、痛みはなく普通に食事もできていたため、そのままにしていました。その結果、久しぶり（25年ぶりくらい）に歯医者に行くことになりました。私は、歯医者を含め、病院がとても苦手です。虫歯はぎりぎり神経まで届いておらず、2回の治療で済みました。医者からは定期的に診察を受けるように言われましたが、勿論素直に聞くつもりはありませんでした。このことが、先日の夜中の激痛につながります。痛みはしばらくすると引きましたが、少しの刺激が神経に響く日が続きました。その違和感が続き、何も無い状態でも痛みが出てきたため、仕方なく歯医者に行きました。機械を使って削る治療の時、その機械を冷やしながら行うために水を使いますが、それがこの世のものとは思えない激痛を運んできました。治療のためには水が必要、しかし、水をかけると激痛が…。医者からは、他の患者さんがいるところで「こんなに痛がる患者は年に1～2人」と言われ、恥ずかしさと痛みが入り交じった表情になったと思います。麻酔も効かずに、最後は激痛に耐えながらの治療を選択せざるを得ませんでした。こんなに痛い思いをするくらいなら・・・と後悔しても後の祭りです。最初に気づいたときに歯医者に行っていれば、こんなに痛い思いをしなくて済んだはずです。健康を考えると、未然の予防対策、早期発見、早期治療が大切であることを改めて実感したところです。治療は、まだしばらく続きます。気が重いです。

## 地域で生きるということ

学校には、地域の方からの連絡がしばしばあります。児童の行動に感心された内容もあれば、しっかり指導してほしいという内容もあります。

今回は、保護者の協力がなければ徹底が難しい内容についてお知らせします。ここでお知らせする理由は、秋休みを利用して、放課後の過ごし方について、お子さんと今一度確認をしていただけたらと考えたからです。

今年度、地域の方からの連絡で一番多い内容は、道路での遊び方です。自転車等の乗り物を利用した遊びで、危うく事故につながりそうな事案がいくつもありました。ヘルメットの着用や交通ルールを守った正しい乗り方については、学校でも指導はできます。しかし、正しいルールの定着を徹底するためには、ご家庭での繰り返しの指導が必要です。また、道路でのボール遊びに関しても連絡があります。勿論、広場等で遊ぶことが原則ですが、今回の問題は、遊んでいたボールが他人の家に入ったり、畑に入ったりしたときの行動です。黙って家に入っていく、せっかく耕した畑を踏み荒らして取りに行くというようなことがあっています。そこにおられた方が注意すると、走って逃げるということもあっています。そういった場合は、きちんと断って取りに行くことが必要です。

交通ルールを守ったり、失敗したりしたときはきちんと断りを入れることができるようになることで、地域でかわいがられる子どもたちになるのではないのでしょうか。